

ひむがしに直にい向ふ岡に上り蔵王の山を目守りて下る

ただ

まも

湯の歌碑⑳

出典 小園（昭和二〇年） 場所 鳴の谷地沼畔



【意味】 東に見える蔵王と直接に向かい合っている丘に上り、蔵王の山から目を離さずに下る。

【感想】 高い丘に上って、東の方に美しい蔵王を見ることができて、茂吉はうれしく思っていると思います。あんまりきれいなので、丘を下りながら蔵王が見えなくなるまで見ていると思います。



【僕の蔵王短歌】

蔵王山五感を使つて感じ取る

四季それぞれの違った風景

一年 岡崎一沙

蔵王のここがおすすめ

スキーがおすすめです。蔵王には一日で滑りきれないほどのコースがあるのでとても楽しいです。